



SDGs推進プロジェクト『あゆみ』レポート 2022



SDGs推進プロジェクト
あゆみ

～地域のために 未来のために～

SDGs推進プロジェクト『あゆみ』レポート 2022 発行にあたり

～ 地域のために 未来のために ～

・筑波銀行は、東日本大震災以降、地域復興・地域振興支援プロジェクト『あゆみ』の活動を通じ、地域経済や地域社会の面的な復興および振興に取り組んでまいりました。

・当行は、2019年4月に、それまでの経験を活かしコーポレートスローガン『地域のために 未来のために』の実現に向け、国連が定めた「持続可能な開発目標 SDGs」の趣旨に賛同し、「筑波銀行 SDGs 宣言」を制定しております。

・2022年度はこれまで新型コロナウイルス感染症の影響で制限されていた経済活動が再開されたことをうけ、アフターコロナに応じた最適なソリューションをお客さまにスピーディに提案、実行に移すことで地元中小企業を支援してまいりました。

・当行は引き続き地域社会の様々な課題解決に取り組み、マルチステークホルダーとともに、これまで築き上げた“つながり”（リレーションシップ）を強みとし、共通価値の創造につなげ、「サステナブル経営」への転換をはかってまいります。

・SDGs推進プロジェクト『あゆみ』の2022年度の活動をまとめましたので、当行の取り組みを是非ご高覧ください。



2023年7月

頭取 生田 雅彦

目次

I. 筑波銀行SDGs推進プロジェクト『あゆみ』の取り組みについて	P.3
SDGs推進プロジェクト『あゆみ』について	
筑波銀行SDGs宣言 ～地域のために 未来のために～	
II. 2022年度のSDGs推進プロジェクト『あゆみ』活動状況について	P.5
1.地域経済の持続的な発展に向けて	
1.1 サステナブルな地域経済を目指して	P.6
1.2 地域イノベーションの創造	P.7
2.持続可能な地球環境の実現に向けて	
2.1 地球環境に配慮した行動	P.9
3.地域に暮らす人々の豊かな社会の実現に向けて	
3.1 地方創生の更なる推進	P.12
3.2 C S Rの取り組み	P.15
3.3 取引先の職場環境の向上	P.16
4.責任ある事業の推進に向けて	
4.1 TCFD提言等のコンソーシアムへの参画	P.20
4.2 持続的成長に向けたガバナンス体制	P.22
III. 次期 SDGs推進プロジェクト『あゆみ』の取り組みについて	P.23
SDGs推進プロジェクト『あゆみ』2023年度の取り組みについて	



I. 筑波銀行SDGs推進プロジェクト『あゆみ』の取り組みについて

SDGs推進プロジェクト『あゆみ』について

① 名称

SDGs推進プロジェクト『あゆみ』
～地域のために 未来のために～



② 計画期間

2022年4月 ～ 2025年3月（3年間）

③ 基本方針

- ・2019年4月、コーポレートスローガン「地域のために未来のために」の実現に向け、国連が提唱する「持続可能な開発目標SDGs」の趣旨に賛同し、「**筑波銀行SDGs宣言**」を制定しました。
- ・SDGsの目指す「持続的で多様性と包摂性のある社会」の実現に向け、地域振興支援プロジェクト『あゆみ』を**SDGs推進プロジェクト『あゆみ』**にリニューアルし、社会的課題の解決のための施策を展開し、当行を含む地域社会の持続的成長を目指してまいります。

第5次中期経営計画のスタートに伴い、社会情勢の変化に対応するため、「経営理念」と「筑波銀行SDGs宣言」を両輪としてマルチステークスホルダーとの「共通価値の創造」へつなげ、「サステナブル経営」への転換をはかるべく、プロジェクト期間を延長し積極的に対応してまいります。

SDGs推進プロジェクト『あゆみ』の概要

《マテリアリティ》		《テーマ》	
1 地域経済の持続的な発展に向けて	8 働きがいも経済成長も、9 産業と技術革新の基盤をつくろう、17 パートナリシップで持続可能な発展しよう	1-1 サステナブルな地域経済を目指して 1-2 地域イノベーションの創造	経済
2 持続可能な地球環境の実現に向けて	7 再生可能エネルギーを拡大しよう、13 気候変動に具体的な対策を、14 海の豊かさを守ろう、15 陸の豊かさも守ろう	2-1 地球環境に配慮した行動	環境
3 地域に暮らす人々の豊かな社会の実現に向けて	4 質の高い教育をみんなに、5 ジェンダー平等を實現しよう、8 働きがいも経済成長も、11 住み続けられるまちづくりを、12 つくる責任 つかう責任	3-1 地方創生の更なる推進 3-2 CSRの取り組み 3-3 取引先の職場環境の向上	社会
4 責任ある事業の推進に向けて	10 人や国々の公平な発展を促そう、16 平和と公正をすべての人に	4.1 TCFD提言等のコンソーシアムへの参画 4.2 持続的成長に向けたガバナンス体制	ガバナンス

筑波銀行SDGs宣言 ～地域のために 未来のために～

当行は、国連が定めた「持続可能な開発目標 SDGs」の趣旨に賛同し、コーポレートスローガン「**地域のために 未来のために**」のもと、多様性と包摂性のある社会の実現に向けて、地域になくてはならない銀行として、地域社会の持続的発展に貢献していく活動を行ってまいります。

筑波銀行SDGs宣言 4つのテーマ

① 地域経済の持続的な発展に向けて

私たちは、保有する多様なネットワーク、金融仲介機能を発揮して、お客さまや地域の課題の解決を通じて、地域経済の持続的な発展に貢献します。

② 持続可能な地球環境の実現に向けて

私たちは、環境にやさしい事業運営や再生可能エネルギー利用の促進等の活動を通じて、持続可能な地球環境の実現に貢献します。

③ 地球に暮らす人々の豊かな社会の実現に向けて

私たちは、地域社会における課題や要請に耳を傾け、事業活動を通じてその解決を支援し、豊かな地域社会の実現に貢献します。

④ 責任ある事業の推進に向けて

私たちは、コンプライアンスの徹底やガバナンス体制の整備を進め、持続可能な責任ある事業の推進体制の整備を進めます。

II. 2022年度のSDGs推進プロジェクト『あゆみ』活動状況について

1. 地域経済の持続的な発展に向けて

<マテリアリティ>

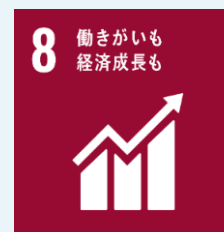
私たちは、保有する多様なネットワーク、金融仲介機能を発揮して、お客さまや地域の課題の解決を通じ、地域経済の持続的な発展に貢献します。

<テーマ>

1.1 サステナブルな地域経済を目指して

1.2 地域イノベーションの創造 ※

※ 地域イノベーションの創造…地域を支えることが期待されるベンチャー企業などの創業支援を行うこと





1.1

サステナブルな地域経済を目指して ～SDGs支援サービスの開始～

SDGs支援サービス

・SDGs支援サービスの目的

SDGsへの関心が高まる中、大企業を中心に動き出したSDGsへの取り組みが裾野を拡大しており、地域社会においても取り組みが求められています。当行も地域金融機関として地元中小企業支援の観点から、SDGsの意識醸成や取り組み支援等を目的としてSDGs支援サービスの取り扱いを開始いたしました。

・導入メニュー

SDGs診断

お客さまのSDGsへの取り組み状況についてヒアリングによる現状評価を行い、その内容をフィードバックシートにて還元いたします。

株式会社〇〇工業 診断 2022年2月15日 株式会社〇〇銀行

～無償提供SDGs診断サービス～

貴社SDGsへの取り組み状況は下記の通りです。ご確認ください。

【A】「人権・労働」「製品・サービス」に関するSDGsへの取り組みが評価されています。
一方、「公正な事業運営」に関する取り組みが不足しています。

※診断結果（No.1-5 カテゴリ別結果）

カテゴリ	達成度	達成率	達成率2（%）	レーティング
1. 人権・労働	6	5	83%	A
2. 環境	8	5	63%	B
3. 公正な事業運営・組織体制	6	3	50%	C
4. 製品・サービス	6	6	100%	A
5. 社会貢献・地域貢献	3	2	67%	B

※レーティング

1. 人権・労働

2. 環境

3. 公正な事業運営・組織体制

4. 製品・サービス

5. 社会貢献・地域貢献

※診断・レーティング基準

診断 / カテゴリ No.1-4

診断	レーティング	基準
達成がすすんでいる	A	80%以上
概ね達成している	B	60%以上
達成が滞っている	C	50%未満

カテゴリ No.5

診断	レーティング	基準
達成がすすんでいる	A	75%以上
概ね達成している	B	50%以上
達成が滞っている	C	50%未満

※診断結果の活用方法

1. 診断結果の活用方法

2. 診断結果の活用方法

3. 診断結果の活用方法

4. 診断結果の活用方法

5. 診断結果の活用方法

「SDGs宣言書」作成支援

SDGs診断結果をもとに、今後のSDGsへの取り組み方針を社内外に公表する「SDGs宣言書」の作成をご支援いたします。

SDGs宣言書

当社は、経営理念に『人と環境にやさしい経営』を掲げ、全社一丸となって製品品質の向上に努めてまいりました。
今般、国連が定めた「持続可能な開発目標（SDGs）」の趣旨に賛同し、当社の事業を通じて持続可能な社会の実現を目指して、下記の取り組みを実施していくことを宣言します。

宣言日 2022年2月15日

宣言者 株式会社〇〇工業
代表取締役 〇〇〇〇

重点的な取組テーマ	取組内容	関連するゴール
廃棄物・有害物質の削減	環境に配慮した生産設備の導入により、廃棄物の適正処理や削減、CO2排出削減に取組み、事業時活動による環境負荷の軽減に努めてまいります。	12
労働環境の整備	残業削減、健康経営の導入、公正な人事評価制度の制定を行い、従業員が健康でやりがいを持って働ける環境を整備します。	8
社会課題を解決する製品・サービスの提供	当社の製品「●●」の品質向上とラインナップ拡大により、すべての人々に健康で豊かな生活を提供できるように努めてまいります。	3, 9



1.2

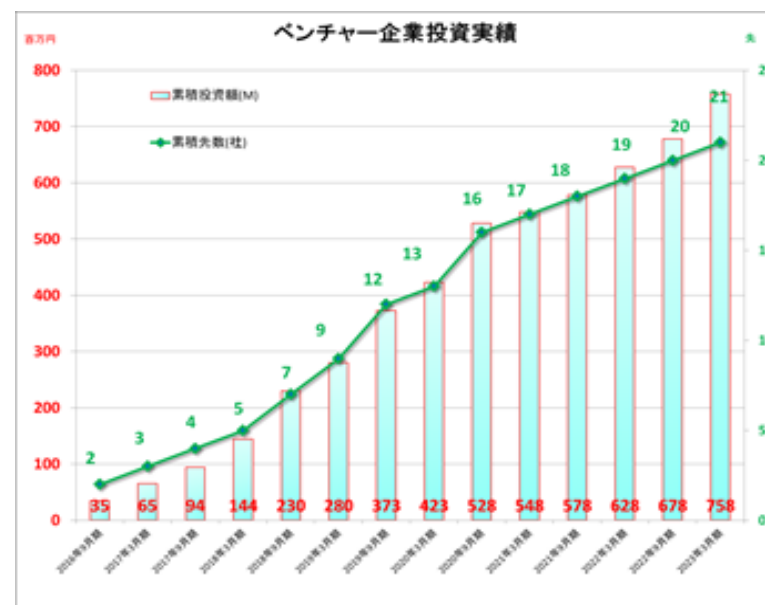
地域イノベーションの創造 ～ベンチャー企業育成への取り組み～

新産業育成に向けたベンチャー企業育成支援の取り組み強化

- ・当行は、地域金融機関として地方創生に積極的に関与するため、2016年以降独自のファンドを活用し、地域のベンチャー企業支援に取り組んでまいりました。
- ・これらの取り組みが、令和4年度の「地方創生に資する金融機関等の特徴的な取組事例25選」に選定され、2023年3月に内閣府特命担当大臣（地方創生担当）から表彰されました。



生田頭取



2. 持続可能な地球環境の実現に向けて

<マテリアリティ>

私たちは、環境にやさしい事業運営や再生可能エネルギー利用の促進等の活動を通じて、持続可能な地球環境の実現に貢献します。

<テーマ>

2.1 地球環境に配慮した行動

世界ではさまざまな自然災害が増えており、その原因のひとつとして地球温暖化が上げられます。

地球温暖化は二酸化炭素の増加が主な原因と言われています。再生可能エネルギー利用への積極的なサポート、環境保全活動、環境負荷低減に向けて取り組んでいます。



地球環境に配慮した行動

～ボランティアを通じた環境保全への取り組み～



① 森林保全への取り組み

- ・当行は美しい健全な森林を次世代へ引き継いでいくために、毎年「筑波銀行あゆみの森」において新入行員と頭取ならびに役員による記念植樹や下草刈りを実施するなど、森林保全活動に取り組んでおります。
- ・この記念植樹は2012年4月より開始され、2023年4月で12回目となります。これまで延べ784名がアジサイの植樹を行いました。



生田頭取と2023年度新入行員代表の植樹



アジサイ植樹の様子



2023 年度新入行員（58名）による記念植樹を実施

新入行員による記念植樹

«「筑波銀行あゆみの森」つくば市»

取り組み実績
〔累計植樹本数〕

527本
(2012～2023)

地球環境に配慮した行動

～ボランティアを通じた環境保全への取り組み～



② 「ウルシ植栽」活動支援による地域資源保全及び地域振興

・当行が活動を支援しているNPO法人麗潤館の主催による『ウルシ植栽2022』が開催され、当行行員も本活動に参加しました。この活動を支援することにより、貴重な地域資源である漆の保全、普及に向けて地域振興に協力しています。



ウルシの芽が動き出す前に苗木を
植え付けます。



麗潤館オリジナルデザインの漆器

3. 地域に暮らす人々の豊かな社会の実現に向けて

<マテリアリティ>

私たちは、地域社会における課題や要請に耳を傾け、事業活動を通じてその解決を支援し、豊かな地域社会の実現に貢献します。

<テーマ>

3.1 地方創生の更なる推進

3.2 CSRの取り組み

3.3 取引先の職場環境の向上

地域社会が持続していくためには、そこに住むすべての人々が、豊かに暮らしていくことが重要です。金融教育、経営人材の育成、スポーツ・文化事業への協力、ダイバーシティ（※）に対して積極的に取り組んでいます。また、住み続けられるまちづくりに向けた取り組みとして、自治体と連携して観光資源の発掘にも協力しています。

（※）ダイバーシティ…性別、人種、国籍、宗教等の多様性を活かしていく取り組み



地方創生の更なる推進

～行政と連携した地域商社事業への支援～



① 地域活性化DMO推進事業への協力

- ・ 当行はかすみがうら市と連携し、地域活性化DMO（※）『かすみがうら未来づくりカンパニー』に出資し、継続してその運営を支援しております。サイクリング事業を核とし、地域商社機能を含めた様々な事業を展開しており、ECサイトの支援、商品のブラッシュアップ支援等を実施しています。
- ・ また地域に眠る貴重な資産である古民家を地域拠点として活用するため、茨城県ブランド向上事業における古民家改修物件として、2020年7月に「ゲストハウス古民家江口屋」を協働でオープンしました。2023年3月には、クラフトビール工場のオープンにも協力しております。

（※）DMO（Destination Management Organization）とは…地域にある観光資源（食・自然、歴史、文化等）に精通し、観光地のPR、マーケティング、商品開発の活動を通じて、観光地の魅力を高め、地域経済を活性化することを目的とした法人



サイクリング事業



ゲストハウス古民家江口屋



クラフトビール工場



地方創生の更なる推進

～地域資源ブランディングへの取り組み～

② 地域資源のブランディング化支援の取り組み強化

〔地方自治体と連携した地域の優れた製品選定支援〕

- ・ 当行と地域振興協定を締結している2自治体において、観光振興や地域魅力発信のため、地域の優れた産品を市の推奨品として選定し、その事業に協力しております。

＜桜川市＞

- ・ 2019年から当行役員が「さくら川百貨選定審査委員会」の委員長に就任し、地域の産品の中から「さくら川百貨」を選定しています。選定協力に加え、ブラッシュアップ事業を関連会社の筑波総研が受託しました。銀行と連携して対応しており、セミナー・相談会を計7回実施しております。

＜石岡市＞

- ・ 2020年から当行役員が「石岡セレクト運営委員」を委嘱され、地域の産品の中から「石岡セレクト認証品」を選定しています。これまでの選定委員会にて、20事業者24品目が選定されました。



「さくら川百貨」
令和3年度選定品カタログ



ブラッシュアップ
セミナーチラシ



石岡セレクト認証品カタログ



地方創生の更なる推進 ～自治体等外部機関と連携した取り組み事例～

③ 自治体と連携したまちづくりに向けた取り組み

<北茨城市>

- ・2016年に締結した「鶴岡市・北茨城市・荘内銀行・筑波銀行の連携協力にかかる協定」に基づき、両市の広域的連携事業を支援しています。
- ・この協定に関連し『第35回日本海寒鰯まつり』が山形県鶴岡市で開催されました。北茨城市が「あんこう鍋」を出店、大盛況のなか用意した250食が約3時間で完売しました。
- ・また、『第7回全国あんこうサミット』が北茨城市で開催され、鶴岡市が「あんこうのどんがら汁」を出店、こちらも大盛況となりました。



あんこうサミット



寒鰯まつり

④ 自治体と連携した観光振興策

<筑西市>

- ・当行は筑西市と2016年5月に「筑西市の地域振興に関する協定」を締結し、同年8月に「筑西市観光振興協議会」が発足し、現在まで当行役員が会長職を委嘱されています。
- ・2023年2月に「道の駅グランテラス筑西」に係る観光・食・開発・PRをメインテーマに、本市内外の大学生等から観光まちづくりに関するアイデアを募り、新しい知見やアイデアを発掘しました。更にその機運を高めるため、同協議会が参加型プレゼンテーションイベント「筑西まちづくりキャンパスチャレンジカップ」を開催し、WEBでプレゼンテーション及び表彰式を開催しました。
- ・協議会会長として当行役員が出席し、Creative賞（会長賞（優勝））を贈呈しております。



当協議会会長
渡辺営業副本部長

CSRの取り組み

～金融教育・経営人材の育成支援への取り組み～

① 全国高校生金融経済クイズ選手権 「エコノミクス甲子園」 茨城大会の開催

- ・ 高校生が楽しみながら金融経済に興味を持ち、将来社会人として必要な経済知識を学ぶきっかけを提供するため、当行は「エコノミクス 甲子園」茨城大会を主催しています。
- ・ 「エコノミクス甲子園」は、2012年より毎年開催されており、県内から多くの高校生が集結し、金融経済知識を競っております。
- ・ 2023年2月に全国大会が国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都）で開催されました。



第17回エコノミクス甲子園 全国大会

エコノミクス甲子園
優勝チーム
(茨城大会)

エコノミクス甲子園
(全国大会)



② 土浦一高 探究学習委員会県内フィールドワークに協力

- ・ 当行は茨城県立土浦第一高等学校と連携協力協定を締結しており、人材育成を目的とし、学生のみなさんの課題研究等について、当行行員も積極的に指導・助言しております。
- ・ 今年度の活動内容としては、筑西市にてフィールドワークを実施しました。学生のみなさんが、地域振興や観光開発の事例を通して「自らの探究課題を深化・発展させる」こと、銀行や自治体の専門家の話を聞いたり、議論することを通して「幅広い視野を身につける」ことを目的としております。



ザ・ヒロサワ・シティ
ユメノバ見学

板谷波山生誕
150年記念展見学



CSRの取り組み

～福祉基金・奨学基金の贈呈～

③ 公益信託「愛の社会福祉基金」・「奨学基金」 贈呈

- ・ 当行では社会貢献活動の一環として、公益信託「筑波銀行愛の社会福祉基金」および「筑波銀行記念奨学基金」を設立し、毎年助成金と奨学金を贈呈しています。
- ・ 今年度も助成金および奨学金を、社会福祉施設とアジアからの留学生へ贈呈しました。



助成金および奨学金目録贈呈

～地域清掃ボランティア～

④ ボランティアクラブの活動

- ・ 第99回 霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦（清掃ボランティア）に参加しました。本店営業部を中心に土浦近隣の営業店、土浦在住の行員、当行子会社である筑波総研の社員など合計55名が参加し、土浦市内の桜川の河川敷清掃を行いました。



清掃活動の様子



CSRの取り組み

～スポーツ事業への支援～

⑤ スポーツ事業への協力

- ・ 例年開催されていた、筑波銀行「あゆみ杯・茨城県学童軟式野球大会」については、2019年以降、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見合わせておりましたが、2022年、3年ぶりに開催されました。
- ・ 地元つくばをホームとするバレーボールチームであるつくばユナテッドSunGAIAの「筑波銀行特別協賛試合」を開催いたしました。当行はSDGs推進プロジェクト『あゆみ』の一環として、ホームゲームを特別協賛し、特別招待・優待チケットを近隣市町村の小・中学生へ配布しております。
- ・ 石岡市八郷地区において開催された「第9回筑波連山天空ロード&トレイルランinいしおか大会」に当行が特別協賛し、3年ぶりに開催されました。当日は当行の近隣支店の行員が、大会本部補助等の運営ボランティアとして参加しました。
- ・ 2023年「かすみがうらマラソン」に当行より計39名がボランティアとして参加しました。参加賞等の運搬、フェンス・コーンの設置・撤去対応、ゴール後のランナーへの参加賞の配布等に従事しました。



2022年「あゆみ」杯
優勝チーム 表彰状 授与の様子



つくばユナテッドSunGAIAの「筑波銀行特別協賛試合」を開催しました



トレイルラン
参加者ゼッケンにプリント
された当行名



「かすみがうらマラソン」ランナーへの参加
賞の配布をしました

取引先の職場環境の向上 ～ハッピーエールサポート～

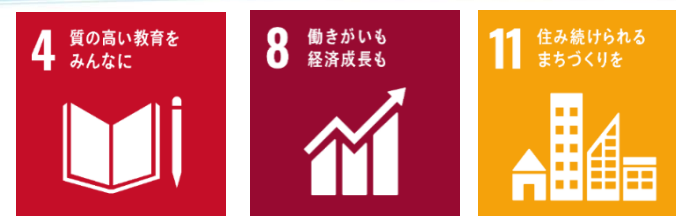
① 中小企業向け従業員の福利厚生の充実

- ・当行は2020年10月より中小企業のお客さま向けに、従業員の福利厚生の充実を図るパッケージ商品である「ハッピーエールサポート」の取り扱いを開始いたしました。
- ・本サービスは、金融取引、生活応援、研修・セミナーの3つのサービスから構成されており、中小企業のお客さまにとっては福利厚生サービスを取り入れることで、従業員の生活の安心と充実をはかり、従業員の定着や優秀な人材の採用に繋がることが期待されます。

～3社連携協定～

② 健康経営推進への取組み

- ・当行は2022年12月に、損害保険ジャパン株式会社、SOMPOひまわり生命保険株式会社との3社で「健康経営」について相互に連携を図り、地元中小企業に広めることを目的に「健康経営推進に関する連携協定」を締結いたしました。
- ・本協定締結により、損保ジャングループのツールやノウハウを活用し当行取引先に対し、健康経営の普及に取り組んでおります。
- ・具体的にはSOMPOひまわり生命保険の業務提携先である(株)オクタウェルとビジネスマッチング契約を締結し、取引先の「健康経営優良法人認定」取得サポートに取り組んでおります。
- ・また、ハッピーエールサポート契約先に対し、無料で活用できる健康管理アプリの紹介を開始しました。



『ハッピーエールサポート』
サポーター：つくしちゃん



3社連携協定調印式

4. 責任ある事業の推進に向けて

＜マテリアリティ＞

私たちは、コンプライアンスの徹底やガバナンス体制の整備を進め、持続可能な責任ある事業の推進体制の整備を進めます。

＜テーマ＞

4.1 TCFD提言等のコンソーシアムへの参画

4.2 持続的成長に向けたガバナンス体制

地域金融機関として、お客さまから信頼され、なくてはならない銀行となるためには情報開示及びコンプライアンス遵守の徹底は最重要課題ととらえています。また持続的な成長・企業価値の向上を目指してガバナンス体制を引き続き強化してまいります。



TCFD提言等のコンソーシアムへの参画

～TCFD提言賛同表明～



当行は2021年8月に、気候変動が地域のお客さまや当行に与えるリスクを想定しながら、脱炭素化に向けた対応を積極的に進めるため、TCFD提言への賛同を表明し、継続した情報開示の充実に努めております。

①ガバナンス

- ・頭取を委員長とするSDGs推進委員会を3か月毎に開催し、気候変動を含む環境・社会・ガバナンス等のSDGs推進施策の検討および協議を行い、その内容を取締役に報告しております。



②戦略

<機会>

- ・持続可能な社会への貢献がますます求められるなか、気候変動関連ビジネスの市場規模拡大が期待されます。当行は、お客さまの脱炭素社会への移行をファイナンスの側面だけでなく、ビジネスマッチングの側面においても積極的に支援し、環境負荷低減に貢献してまいります。

<リスク>

- ・気候変動リスクとして、【移行リスク】と【物理的リスク】を認識しています。

<炭素関連資産>

- ・当行の与信残高に占める炭素関連資産（電力、ガス、エネルギー等）の割合は1.02%（2023年3月末）であり、炭素関連資産については影響の分析に努めてまいります。



③リスク管理

- ・環境や社会課題解決に向けたお客さまの取り組みを積極的に支援するとともに、環境や社会に大きな影響を与える可能性がある事業者への投融資に関する取り組み方針を定め、取り組み方針に基づいた投融資を実施してまいります。

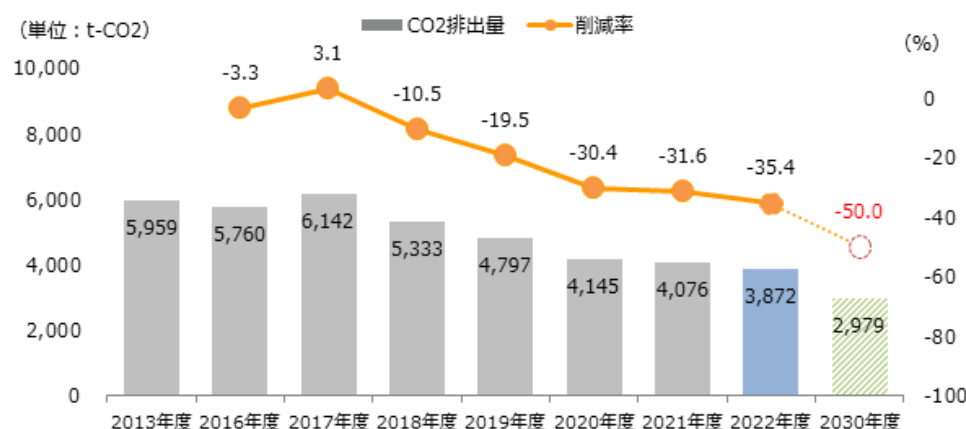
TCFD提言等のコンソーシアムへの参画 ～TCFD提言賛同表明～

④指標と目標



<CO2排出量削減目標>

- ・2013年度のScope1・2のCO2排出量を基準として、2030年度のCO2排出量削減目標を▲50%といたします。
- ・2022年度は2013年度比35.4%削減しています



Scope1 (スコープ1) : ガソリン・重油・灯油・LPG の使用量に基づき計測
Scope2 (スコープ2) : 電気の使用量に基づき計測

<サステナブルファイナンス実行目標額>

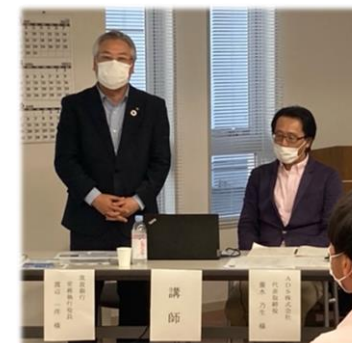
目標額	3,000億円
対象となる期間	2022年4月～2031年3月（9年間）
対象	持続可能な社会の実現に向けたお客さまのESG（環境・社会・ガバナンス）、SDGsへの取り組みを支援するための投融資といたします。
実績 (2022年4月～2023年3月)	553億円
<対象商品>	
環境分野	グリーンローン・ボンド、再生可能エネルギーに関する投融資等
社会分野	SDGs私募債、社会課題に対応した投融資等
その他	サステナビリティ・リンク・ローン、SDGs宣言アシストローン等

持続的成長に向けたガバナンス体制 ～SDGsについての意識醸成・広報活動～



①かすみがうら市地域未来投資推進課主催のSDGsセミナー参加

- ・ 2022年5月、かすみがうら市地域未来投資推進課主催のSDGsセミナーが開催され、当行役員が講演者として参加しました。
- ・ 「SDGsの影響による地域事業のチャンスとリスク」と題し中小企業にとってのSDGsについて講演しました。また、当行のSDGs支援サービス」についても説明しました。
- ・ トークセッションにおいては、参加事業者の業種毎のSDGsの取り組み事例等を含め、活発な意見交換がされました。



講演の様子



トークセッションの様子

②チャレンジいばらき県民運動主催「社会活動デビューセミナー」講師対応

- ・ 茨城県とはさまざまな事業において連携しており、セミナー等を開催しております。2023年1月には茨城県の外郭団体である「チャレンジいばらき県民運動」主催で、社会の新しい力になってみたいと考えている方向けのセミナーが開催され、当行役員が講師として参加しました。



セミナーの様子

Ⅲ. 次期 SDGs 推進プロジェクト『あゆみ』の取り組みについて

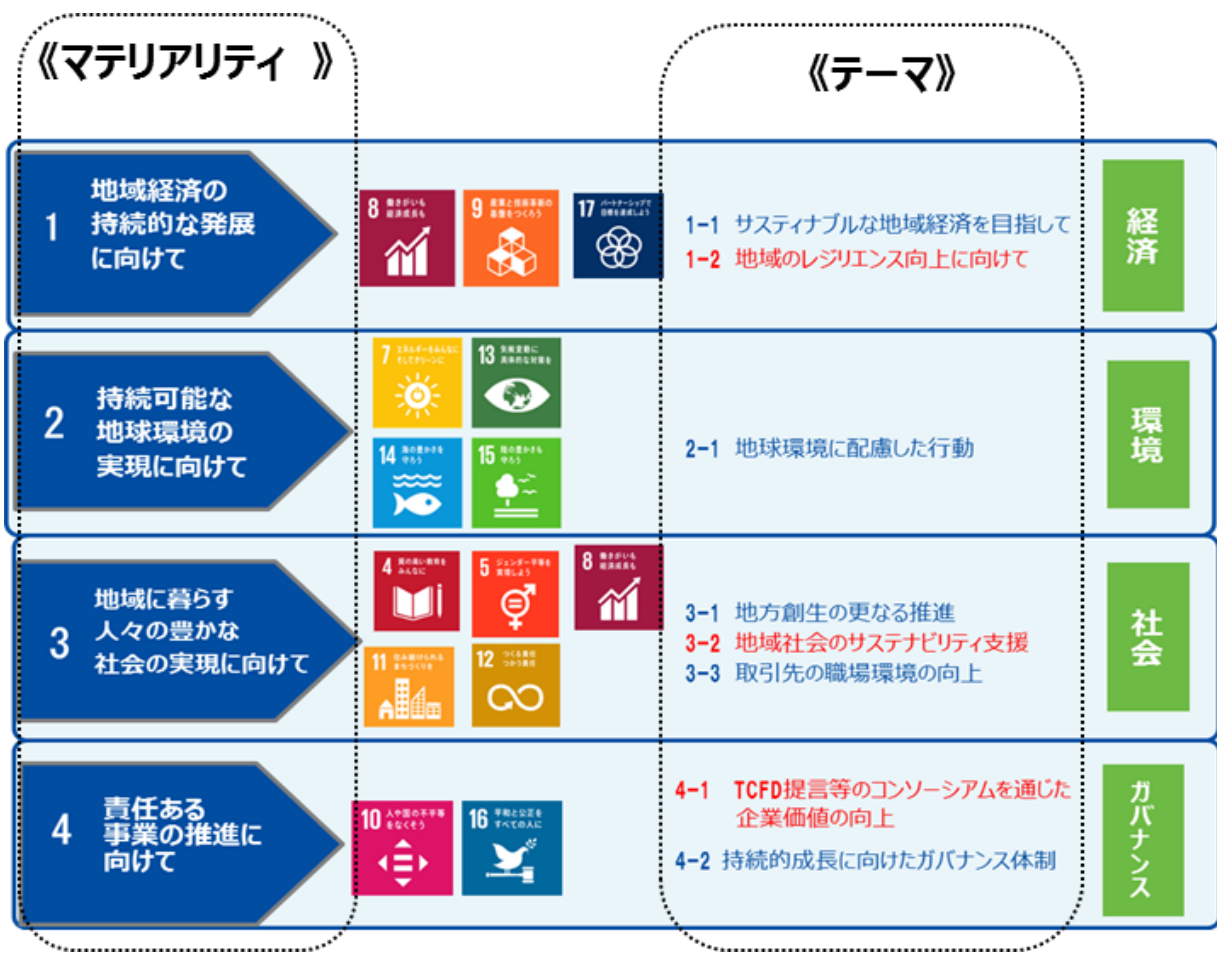
SDGs推進プロジェクト『あゆみ』2023年度の取り組みについて

社会情勢の変化に対応するために

SDGs推進プロジェクト『あゆみ』の計画期間は当初2022年3月までとなっておりましたが、2022年4月の第5次中期経営計画スタートに伴い「サステナブル経営」への転換を図るべく、2025年3月まで延長しました。SDGs推進計画のテーマを見直し、新テーマに則って計画をリニューアルし、今年度もSDGsの推進を図ってまいります。

SDGs推進プロジェクト『あゆみ』概要

- ①名称
SDGs推進プロジェクト『あゆみ』
～地域のために 未来のために～
- ②計画期間
2022年4月～2025年3月（3年間）
- ③基本方針
 - ・2019年4月、コーポレートスローガン「地域のために 未来のために」の実現に向け、国連が定めた「持続可能な開発目標(SDGs)」の趣旨に賛同し、「筑波銀行 SDGs宣言」を制定しました。
 - ・昨今のSDGsに対する社会情勢が加速度的に変化しており、地域金融機関は、それぞれの地域社会が抱える課題を解決し、地域社会の成長を支援することをミッションとしています。筑波銀行はSDGs推進プロジェクト『あゆみ』を継続し、当行を含む地域社会の持続的成長に向けて取り組んでまいります。





筑波銀行